

# WHO Report

ウォーキング・ホリデー・オギクボ

2022年11月号

NO. 253

東京西ワイスメンズクラブ・東京YMCA杉並センター

## 野川下り⑥ タヌキも出る成城から次大夫堀へ

世田谷・成城といえば、都内有数の住宅地。豪邸やハイセンスの街並みです。ところが、塀や垣に『タヌキに注意』のポスターが目立ちます。なぜ？ 成城の西側斜面は、國分寺崖線と野川です。多種の動植物の命が息づいているのです。自然と人との深いかわりを感じられます。



コース後半は、多摩川からを取り水して慶長2（1597）年から16年の歳月をかけて完成させた六郷用水（次大夫堀）が一部復元されていて、当時の古民家と共に、その労苦をしのぶこともできます。前半は、崖線（ハケ）の上の部分、後半は野川に沿った低地を歩きます。10月に比べて、歩行距離、時間を短くしました。

### 246回WHOウォーキングのご案内

期 日：2022年11月26日（第4土曜日）

コース：小田急線成城学園前駅ーイチョウ並木ー成城学園の町並ー旧猪股邸住宅ー旧山田邸ー富士見橋ーきたみふれあい広場（昼食）ー雁追橋ー次大夫堀公園ー同・民家園ー喜多見大橋ー成城三丁目緑地ー成城学園前駅南口

集合・出発：小田急線成城学園前駅

10：00（時間厳守）

受 付：初回の方は、必ず連絡先住所、電話番号を書いてください。これまで書いていない方もお願いします。

解 散：小田急線成城学園前駅 14：30頃

携行品：名札、マスク、健康保険証、弁当、飲料、雨具、4月にお渡したパンフ

レット『野川マップ』は、シリーズ終了までご持参ください。今回、初回参加の方にはお渡しします。

参加費：300円、交通費、施設利用代は各自負担。初参加の方は、名札代200円。（必ず装着してください）。

### みどころ

成城の地名：明治・大正の教育界の重鎮・沢柳政太郎が新宿に開いた成城小学校が中学を設けることになり、同校の教育主事小原国芳（後の玉川学園創始者）が砧村喜多見に24,000坪の校地と、建築資金調達のための住宅分譲用地、20,000坪の土地を買い上げて、1939（大正14）年に開校した。「成城」ということばは、中国の古典「詩経」に「哲夫成城」とあり、分別をわ

きまえた人が国をつくるの意である。校名が地名、駅名となった。

**イチヨウ並木:**開校時に学園の生徒がサクラとイチヨウを植樹し並木をつくった。

**旧猪股邸住宅:**(財) 労務行政研究所初代理事長猪股猛氏が 1957 (昭和 42) 年に建てた住宅。設計は吉田五十八。武家屋敷風の数寄屋造りの母屋に水路を配した回遊式日本庭園。遺族靖氏から平成 10 年に世田谷区に寄贈された。

**旧山田邸:**戦前、米国で事業に成功した檜橋定吉氏が 1937 (昭和 12) 年に建てた米国の生活様式を取り入れた近代住宅。赤いフランス瓦、引き下げ窓、黄金色の外壁。その後、南画家の山田盛隆が購入、2015 (平成 27) 年、世田谷区に寄贈された。

**富士見橋:**ダイヤモンド富士が望める。

**みついけ緑地:** 国分寺崖線にある標高差、約 20m、2.9hr の緑地。溪谷があり湧き出した清流が崖下の水田にそそぐ。水温を高めるために高低差のある 3 つの池を巡る経路することが、「みついけ」の由来である。豊かな生態系の宝庫。特別保護区などに指定され、今回も入場できない。

**次大夫堀・次大夫堀公園:** 徳川家康が 1997 (慶長 2) 年、代官小泉次太夫 (太とも書くが自筆は大) に命じて 15 年の歳月を掛けて開削した農業用水。多摩川で取り水し世田谷領、六郷領に注いだ。正式に名称は六郷用水) 戦後、役目を終え、その姿を失ったが、一部が公園内に復元されている。

**次大夫堀公園民家園:** 区内にあった茅葺き屋根の古民家、土蔵、長屋門を移築復元し、里山、林などを整備し、江戸、明治時代の世田谷の農村を再現している。

**成城三丁目緑地:** かつては、皇室御用林でもあった 2ha の里山。植林、植栽林、竹林が混在。湧き水池もあり小径があるが、団体には向かないので周辺から眺めるのみ。

を最初に歩きました。どうしても農村だった調布の面影を訪ねたかったからです。

路線バス 2 台に分乗して八雲台へ。野川の流路変更と改修で不要となり保存されている旧榎橋の欄干を見ました。小さいながらもしっかりした石造で、村の誇りだったのでは。現在の幅も長さもある榎橋から野川を遡ります。農業の神として崇められた虎狛神社は 589 年の創建、祇園寺は古刹深大寺を開基した満功上人によって創建されたと伝わります。付近にニンジン、ダイコン、サトイモなどの畑、秋播きの準備か、畝寄せを終えた畑もありました。鎌倉時代に日本で最初の甘柿として発見されたとされる「禅寺丸柿」の子孫の大木を見ました。ここで折り返して野川を下り、甲州街道、京王線鉄道を越えます。本来なら、ここが今回の出発点でした。

野川橋で小休憩。近くのコンビニで昼食を買う人、トイレを借りる人。

昼食予定の「きたみふれあい広場」まで 4km 強、遅い昼食を予定していました。なぜか、ここから歩行速度がアップしました。これではバテてしまう。参加者のひとりから「この先に広場があって座れる。トイレはないが隣接するミニスーパーで借りられる、昼食場所を変更しては」との助言と「先乗りをしてもよい」との申し出がありました。お願いすることにしました。

この広場は、住宅団地の子どもの遊び場の通称スリバチ公園。40 分の食事休憩をとりました。その後は、墳陵上に社殿がある糟嶺神社をパスして最終目的地、きたみふれあい広場に到着しました。ここは小田急電鉄の車輛基地の屋上を地盤化し、高さ 10m ほどの丘にして、屋上に林、花壇、池、芝生広場になっています。東にハケの森の連なり、西に富士山をはじめ丹沢などのやまなみが望めました。なんだか先を急ぐ癖がついてしまい、全員完歩を確認して、ここで解散して、それぞれ小田急線喜多見駅に向かいました。

(吉田明弘)

## —10 月例会報告—

10 月例会は 22 日、京王線調布駅前を出発。途中参加を含めて 41 人が参加。コースは、前月、降雨のため途中で打ち切った部分

**感謝** 10 月例会で 84 円切手 10 枚、22 日に 2,000 円を、郵送で通信費として 1,000 円のご寄付いただきました。感謝して報告いたします。